

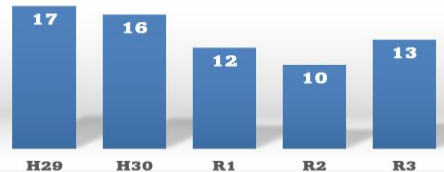
令和5年長崎県「春のあんしんネット・新学期一斉行動」

ネットにはリスクやトラブルも！

① SNSに起因した子どもの被害

令和3年 全国 1,812名 ※1
長崎県 13名 ※2

●長崎県の被害状況（過去5年）※2



5年間で68人の少年が被害に 【情報提供元】長崎県警察本部少年課

「自画撮り被害」に注意！！

○親身になって話を聞いてくれるネット上の友達。誰にも言えないに秘密を打ち明けたが、写真を送ると、「秘密を拡散されたくなければ、裸の写真を送れ！」と脅迫が送られてくることも

★ネットだけでは、写真もメッセージも本物かどうか分かりません。簡単に信用して写真や秘密等個人情報を話さないことや、一度ネット上に流出した画像等を全て回収、削除することは難しいこと等を教え、SNSを使うならば親子でルールを話し合しましょう。

② ネットやゲームの長時間利用

ゲーム障害が2019年5月世界保健機関（WHO）で国際疾病分類で依存症に認定
・ゲームをしたい衝動が押さえられなくなり、日常生活よりゲームを優先し、心身や生活に問題が起きてでも続けてしまう依存症のこと

【チェックリスト】

- 避難のためにインターネットを使う
- 熱中したのを隠すために、周囲にうそをついた
- インターネットのせいで人間関係・学校のことが危うくなった
- 使い始めに思っていたより、長い時間使っている
- やめようとしたら、落ち着かない、不機嫌、イライラを感じる
- 使用時間を短くしたり、やめようとしたが、うまくいかない
- 使う時間を長くしたい
- インターネットに夢中になっている

【参考】「児童生徒のインターネット過剰使用に関する調査」より 長崎県青少年育成県民会議提供

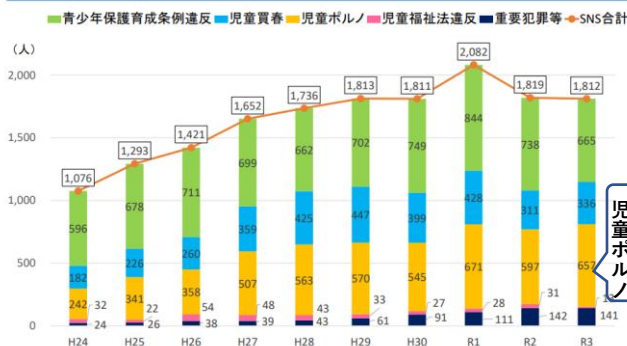
- 5個以上:依存の疑いがある
- 3・4個:依存に進むことが考えられる



③ SNSによる友人・知人とのトラブル

○1人の子を多数で追い詰める、発言を無視する、いじめ・嫌がらせのネタとなる写真や動画を共有するグループから外すなどに加え、ステータスメッセージを悪用した嫌がらせも全国で増加 【参考】総務省 インターネットトラブル事例集（2021年版）より

※1 【SNSに起因する事犯】 罪種別の被害児童数の推移



※ SNSとは、多人数とコミュニケーションを可能とするウェブサイト等で、遊樂ゲームを含む(届出のある出会い系サイトを除く)
※ SNSに起因する事犯とは、SNSを通じて画像等の児童買春や児童ポルノの拡散、交友関係の悪用による児童買春に被害を受けた事犯
※ 対象犯罪は、児童福祉法違反、児童買春・児童ポルノ禁止法違反、青少年保護育成条例違反、重要犯罪等(殺人、強盗、放火、強制性交等、略取誘拐、人身売買、強姦など)を指す。逮捕記録あり

令和3年におけるSNSに起因する事犯の被害児童数は、1,812名であり、前年からは0.4%減少したもののおおむね横ばい状態であり、依然として高い水準で推移している。

【出典元】警察庁ホームページ なくそう、子どもの性被害

長崎県少年保護育成条例が改正されました！
少年に児童ホルノ等の提供を求める行為の禁止

【児童ポルノ等の提供を求める行為の禁止】
第14条の2 何人も、少年に対し、次に掲げる行為を行ってはならない。
(1) 少年に届せられたにもかかわらず、当該少年に係る児童ポルノ等の提供を行うように求めること。
(2) 少年を威嚇し、欺き、若しくは誑かせ、又は少年に対し対価を供し、若しくはその供の釣当をする方法により、当該少年に係る児童ポルノ等の提供を行うように求めること
(平成31年6月1日から施行)

令和5年長崎県「春のあんしんネット・新学期一斉行動」

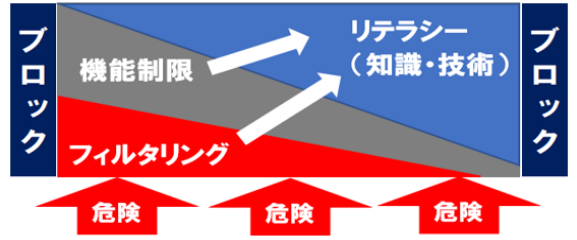
今、保護者ができること！

①ペアレンタルコントロール（保護者による管理）を！

★保護者は、青少年の置かれている環境や青少年のライフサイクルを見通してその発達段階に応じてインターネット利用を適切に管理することが求められます。

②フィルタリング・機能制限活用のすすめ

★スマートフォン等でインターネットを利用させる場合は、必ず、有害な情報をブロックする「**フィルタリング**」を利用しましょう。また、利用時間の制限・調整・課金管理等の**ペアレンタルコントロール機能**も積極的に活用しましょう。



リテラシーが不十分。必ず**フィルタリング**と**機能制限**で子どもを守る。
リテラシーを身につけさせながら、**親の管理**のもとで、**サイトやアプリ**を利用させる。
最終的には、**フィルタリング**や**機能制限**を使わなくても、**自分で危険を回避**できるように育てる。

フィルタリング

「あんしんフィルター」レベルは4種類
①小学生 ②中学生 ③高校生 ④高校生プラス
成長にあわせて制限する内容が選べます。
有害情報から守る／お子さまの居場所がわかる
利用時間を管理できる／アプリの制限ができる
※「あんしんフィルター」は無料で利用できる大手3社のサービスです。その他有料でのフィルタリングサービスもあります。

スクリーンタイム
フィルタリング設定方法



③話し合いによる家庭のルール作りのすすめ

★スマートフォン等の不適切な利用によるリスクについて家庭で話し合い、インターネットを賢く利用するための家庭内のルールを作りましょう。その際、**大切なことは、保護者が一方的にルールを決めるのではなく、子どもと共に考えて家庭のルールを決めることです。**また、ルールが守れないときや子どもが成長したときなど、発達段階に合わせてルールを見直しましょう。

【内閣府HP】
保護者が正しく知っておきたい4つの大切なポイント

④親子のコミュニケーションを大切に！

★子どもに様々な体験をさせ、人とのリアルなコミュニケーションの中で、マナーやモラル、思いやりの心などを育てましょう。



大人の私たちもスマホの使い方を見直してみましょう！

【問い合わせ】
長崎県福祉部局子ども政策局
子ども未来課 095-895-2685